

◆第1章

[問題 1-1]

(1) ① _____ ② _____

(2) _____

[問題 1-2]

(1) _____ ① _____ ② _____ ③ _____

(2)

[問題 1-3]

(1) _____

(2) _____

(3) _____

(4) _____

[問題 1-4]

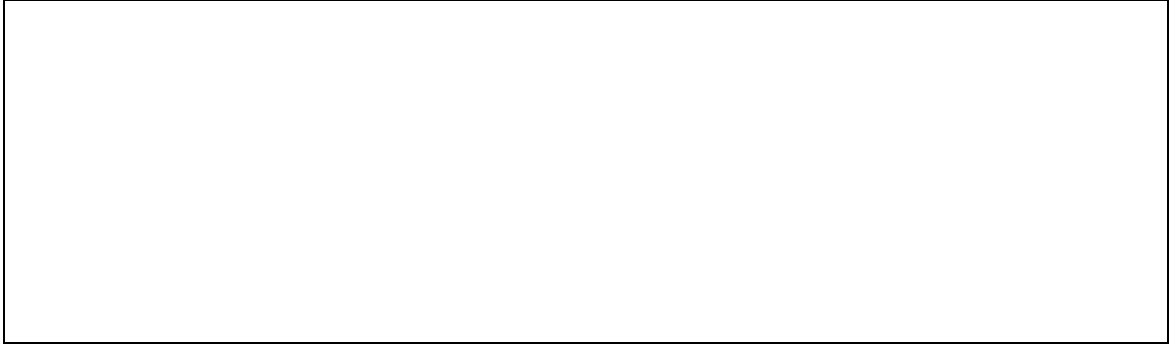
① _____ ② _____ ③ _____ ④ _____ ⑤ _____ ⑥ _____

⑦ _____ ⑧ _____ ⑨ _____ ⑩ _____ ⑪ _____ ⑫ _____

[問題 1-5]

(1) _____

(2) _____



◆第2章

[問題2-1]

- (1) 資産 ()
- (2) 負債 ()
- (3) 純資産 ()
- (4) 収益 ()
- (5) 費用 ()

[問題2-2]

期首純資産(¥)，期末純資産(¥)
当期純() (¥)

[問題2-3]

貸借対照表

() 商店 ×年()月()日 (単位：円)

資産	金額	負債および純資産	金額

[問題2-4]

- (1) 期間費用 _____ 期間収益 _____ 当期純損益 _____
- (2) 期間費用 _____ 期間収益 _____ 当期純損益 _____
- (3) 期間費用 _____ 期間収益 _____ 当期純損益 _____

◆第3章

[問題3-1]

[問題3-2]

- (1) _____ (2) _____ (3) _____ (4) _____
(5) _____

[問題3-3]

売掛金	資本金
()	()
備品	建物
()	()
借入金	買掛金
()	()
給料	支払家賃
()	()
商品売買益	受取手数料
()	()
水道光熱費	受取利息
()	()

[問題3-4]

現金	売掛金

商 品

--	--

資 本 金

--	--

支 払 家 賃

--	--

借 入 金

--	--

商 品 売 買 益

--	--

◆第4章

[問題4-1]

	借方科目	金額	貸方科目	金額
5/5				
8				
10				
15				
23				
31				

現金		売掛金	
商品		備品	
資本金		商品売買益	
給料			

[問題4-2]

	借方科目	金額	貸方科目	金額
5/1				

2				
3				
8				
11				
20				
25				
31				

[問題 4 - 3]

現 金		売 掛 金	
		貸 付 金	
商 品		備 品	
建 物		買 掛 金	
資 本 金		商 品 売 買 益	
受 取 利 息		給 料	

[問題5-4]

仕 訳 帳

3

×年		摘 要	元 丁	借 方	貸 方
		前ページ繰越	✓	15,000	15,000
6	1	(現金)	1	2,500	
		(資本金)	6		2,500
	2	()		1,000	
		(現金)	1		1,000
	5	(商品)	3	500	
		(買掛金)	5		500
	14	(商品)		()	
		()			500
	15	(商品) 諸口	3	1,500	
		(現金)	1		()
		()			1,000
	20	(売掛金) 諸口	2	1,000	
		(商品)			800
		()			()
	25	(給料)	9	()	
		()			100
	30	(現金) 諸口	1	1,050	
		(貸付金)			()
		()			50

総勘定元帳

現 金

1

×年		摘 要	仕 丁	借 方	×年		摘 要	仕 丁	貸 方
6	1	資本金	3	2,500	6	2	貸付金	3	1,000
	30					14			500
						15			500
						25			100

売掛金

2

6	20							
---	----	--	--	--	--	--	--	--

商品

3

6	5	買掛金	3	500	6	20		
	14			500				
	15							

貸付金

4

6	2			1,000	6	30		1,000
---	---	--	--	-------	---	----	--	-------

買掛金

5

					6	5	商品	3	500
						15			1,000

資本金

6

					6	1	現金	3	2,500
--	--	--	--	--	---	---	----	---	-------

商品売買益

7

					6	20			200
--	--	--	--	--	---	----	--	--	-----

受取利息

8

					6	30			50
--	--	--	--	--	---	----	--	--	----

給料

9

6	25			100					
---	----	--	--	-----	--	--	--	--	--

◆第6章

[問題6-1]

合 計 試 算 表

借 方	元丁	勘定科目	貸 方
	1	現 金	
	2	売 掛 金	
	3	商 品	
	4	備 品	
	5	借 入 金	
	6	資 本 金	
	7	商品売買益	
	8	受取手数料	
	9	広告宣伝費	
	10	支 払 利 息	

[問題6-2]

残 高 試 算 表

借 方	元丁	勘定科目	貸 方
	1	現 金	
	2	売 掛 金	
	3	商 品	
	4	建 物	
	5	備 品	
	6	買 掛 金	
	7	借 入 金	
	8	資 本 金	
	9	商品売買益	
	10	受取手数料	
	11	給 料	
	12	広告宣伝費	
	13	支 払 利 息	
	14	雑 損	

[問題6-3]

合計残高試算表

借 方		元丁	勘定科目	貸 方	
残 高	合 計			合 計	残 高
		1	現 金		
		2	売 掛 金		
		3	商 品		
		4	貸 付 金		
		5	建 物		
		6	備 品		
		7	土 地		
		8	買 掛 金		
		9	借 入 金		
		10	資 本 金		
		11	商品売買益		
		12	受取手数料		
		13	受取利息		
		14	給 料		
		15	広告宣伝費		
		16	水道光熱費		
		17	支払利息		
		18	雑 損		

[問題6-4]

精 算 表

勘定科目	元丁	残高試算表		損益計算書		貸借対照表	
		借方	貸方	借方	貸方	借方	貸方
現金	1						
売掛金	2						
商品	3						
貸付金	4						
建物	5						
備品	6						
土地	7						
買掛金	8						
借入金	9						
資本金	10						
商品売買益	11						
受取手数料	12						
受取利息	13						
給料	14						
広告宣伝費	15						
水道光熱費	16						
支払利息	17						
雑損	18						
当期純()							

[問題6-5]

(1)

合 計 試 算 表

借 方	元丁	勘定科目	貸 方
	1	現 金	
	2	売 掛 金	
	3	商 品	
	4	貸 付 金	
	5	建 物	
	6	備 品	
	7	土 地	
	8	買 掛 金	
	9	借 入 金	
	10	資 本 金	
	11	商品売買益	
	12	受取手数料	
	13	受取利息	
	14	給 料	
	15	広告宣伝費	
	16	水道光熱費	
	17	支払利息	
	18	雑 損	

(2)

精 算 表

勘定科目	元丁	残高試算表		損益計算書		貸借対照表	
		借方	貸方	借方	貸方	借方	貸方
現金	1						
売掛金	2						
商品	3						
貸付金	4						
建物	5						
備品	6						
土地	7						
買掛金	8						
借入金	9						
資本金	10						
商品売買益	11						
受取手数料	12						
受取利息	13						
給料	14						
広告宣伝費	15						
水道光熱費	16						
支払利息	17						
雑損	18						
当期純()							

◆第7章

[問題7-1]

社会的制度としての会計は、基本的に期間（ ）計算の職能を担っている。それは、通常1ヵ年の（ ）期間（事業年度ともいう）ごとに行われる。そこで、事業年度の終わりに、諸帳簿の記録を整理して締め切り、（ ）や（ ）などの財務諸表を作成するとともに、次の事業年度への帳簿記録の引き継ぎを行うことを、決算という。決算の基準日となる会計期間の終了日を決算日または（ ）日という。決算日は（ ）または単に（ ）、あるいは事業年度末または単に年度末とも呼ばれる。

決算は次のような手順で実施される。

- (1) 決算予備手続：（ ）を作成し、（ ）の正否を検算する。
- (2) 決算本手続：主に（ ）を締め切ることから構成され、次のような順序で実施される。

①（ ）・（ ）に属する勘定の残高を損益勘定に振り替え、それらに属する勘定口座を締め切る。

②損益勘定の残高として、当期（ ）または当期（ ）を求め、それを（ ）勘定に振り替える。同時に、損益勘定を締め切る。

③（ ）・（ ）・（ ）に属する勘定の残高を次期に繰り越し、それらに属する勘定口座を締め切るとともに、次期の開始記入を行う。

④（ ）・（ ）・（ ）に属する勘定の繰越記入の正否を検算するため、繰越（ ）を作成する。

⑤損益勘定の記録内容から（ ）を、また、繰越（ ）の記録内容から貸借対照表を作成する。

このような取引の認識から記帳、決算までの一連の手続の流れを（ ）の手続とよぶ。

